

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

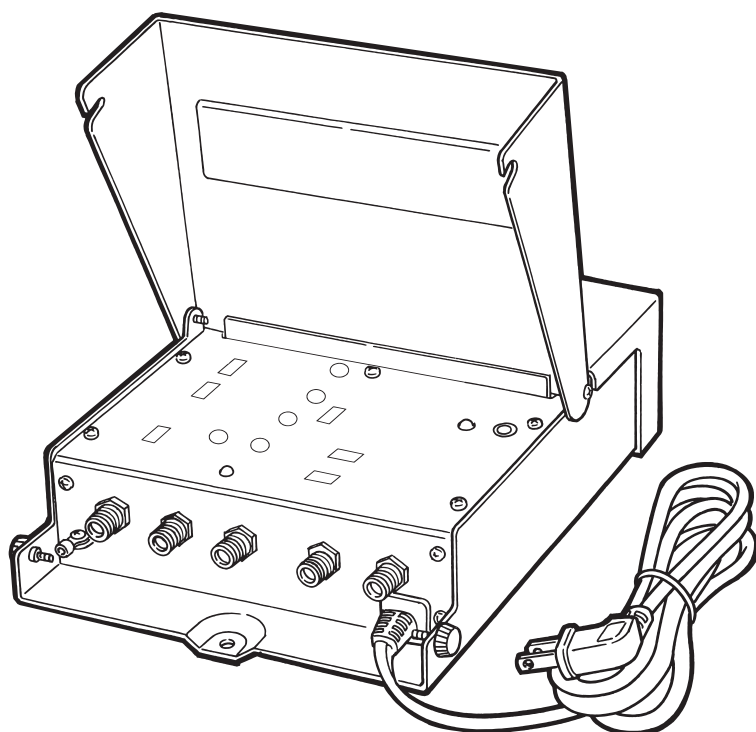


共同受信用

CS/BS-IF・CATV UHF・VHF帯ブースタ(30dB形)

電源内蔵・重畳(DC15V)共用形 屋外用

SCW-301A



製品の特長

- 入力切換スイッチの操作により、U・V混合入力(1本入力)またはCATV入力に切り換えることで、現場に即した工事ができます。
- 設置場所を選ばない電源内蔵(AC100V)・重畳(DC15V)共用形の便利な2電源方式です。
- 各帯域別に入力アッテネータと利得調整回路を内蔵し、あらゆる規模のシステムに対応できます。
- CS/BS-IF入力端子からCS・BSコンバータ用電源(DC15V最大6W)を送出できます。
- 設置した状態のままモニタ端子、利得調整ボリュームで、保守点検・利得調整ができます。

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。電源コードや同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。



同軸ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品と製品に接続している電気製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



注意

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この製品を調理台の付近や高温になる場所では使用しないでください。火災や破損の原因となることがあります。



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



- この製品の開口部（通風孔など）をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- この製品の上に乗らないでください。こわれたりしてけがの原因となることがあります。



- 直射日光の当たる所や、湿度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。
お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。科学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



《販売店・工事店様の安全上のご注意——お客様もお読みください》



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- この製品を調理台や加湿器のそばなど高温になる場所、油煙や湯気が当たるような場所に設置しないでください。火災や破損の原因となります。



- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、通電形機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、同軸ケーブルの先端加工で心線と編組線が接触しないようにしてください。
火災や感電の原因となります。



- この製品の本体を引っ張り強さ0.39kN以上の金属線または直径1.6mm以上の軟銅線で接地してください。
感電や故障の原因となります。



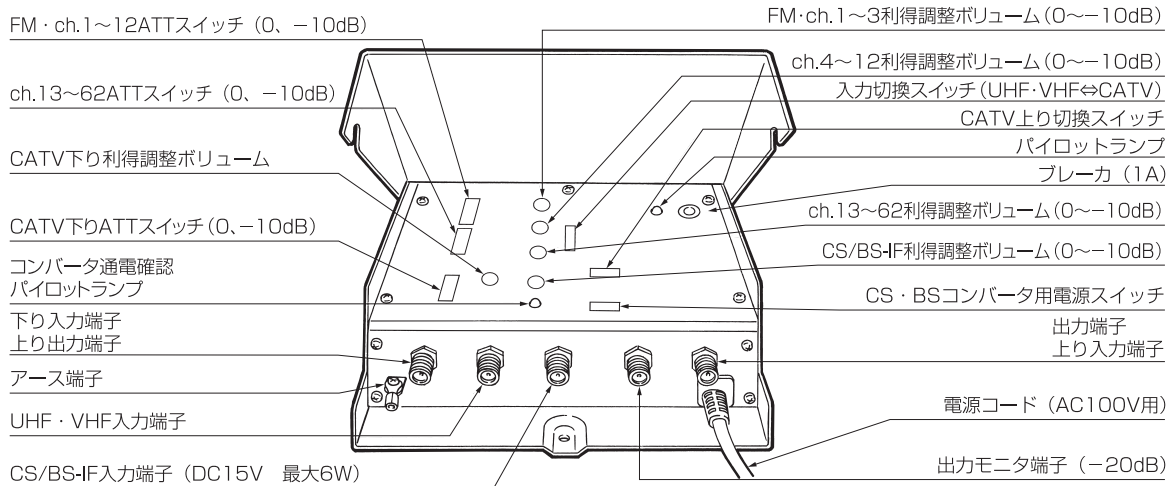
- 取り付けネジや接栓は、締め付け力（トルク）に指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



お取扱いの前に

- 設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- ブースタを落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- 取り付けに用いる以外のネジを回したり、製品本体のカバーを開けて回路部品に手を触れたりしないでください。
- 使用する前にはアース端子にて必ず接地してください。
- 使用時、ブースタに異常を生じた場合は、ただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。

各部の名称



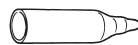
付属品



木ネジ
3本

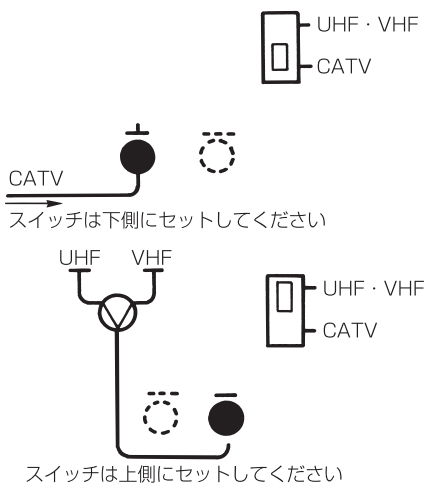


壁面取付金具
1個



防水キャップ4個

入力切換えスイッチの操作



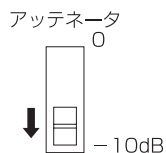
CS・BSコンバータ用電源スイッチの操作

- この製品からCS・BSコンバータ用電源 (DC15V最大6W) を供給する場合は、スイッチを矢印の方向にスライドしてください。
- CS・BSコンバータを動作させるための重畳電源を供給できる端子はCS/BS-IF入力端子のみです。
- 電源の供給はCS・BSコンバータへのケーブルの接続を確認した後に行なってください。
- 重畳ライン上の機器は必ず電流通過形をご使用ください。
- CS/BSコンバータを重畳電源で動作させる以外の場合に通電しますと事故の原因となりますのでご注意ください。



ATTスイッチの操作

- 入力レベルがこの製品の適正入力レベル範囲をオーバーする場合はスイッチを矢印の方向にスライドさせることにより入力レベルを下げるができます。(UHF・VHF帯は-10dB、CATV帯は-10dB)
- それでもなお、入力オーバーの時は、別売りのアッテネータ (減衰器) を入力端子に挿入してください。

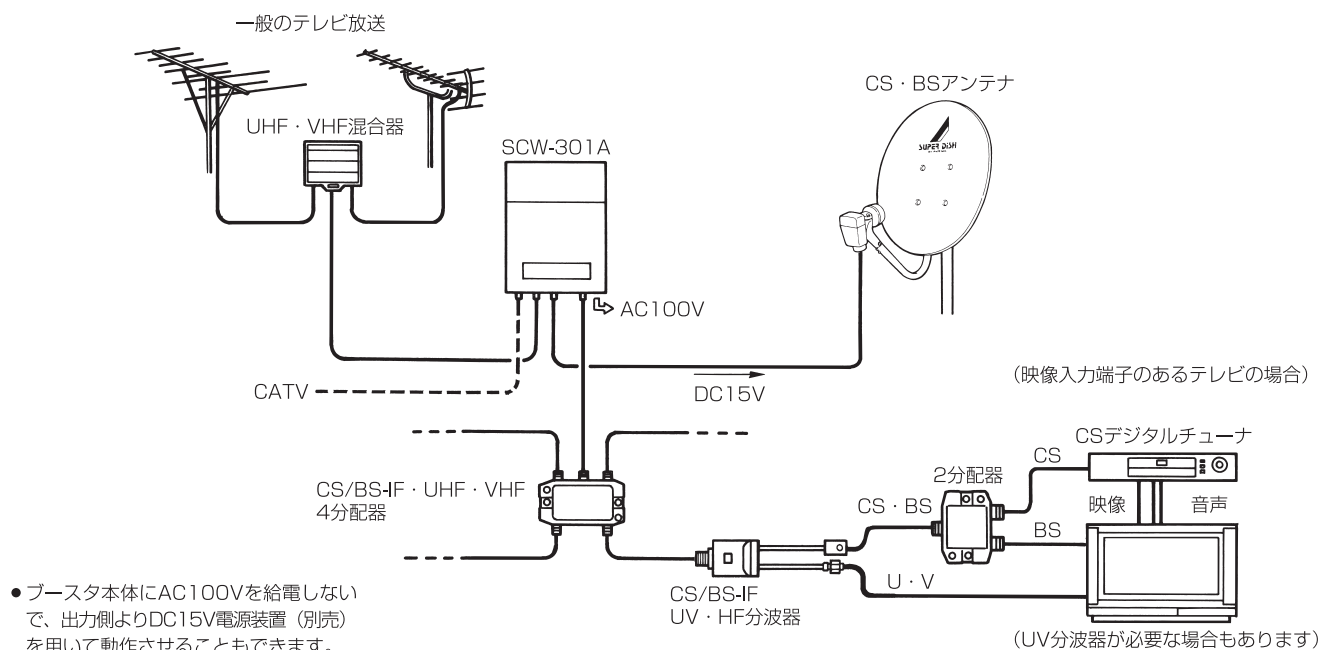


利得調整ボリュームの操作

- ボリュームは反時計方向にいっぱい回しきった時、利得最小となります。出力モニタ端子にレベルチェッカ (電界強度測定器) を接続し、このボリュームにより所定のレベルに合わせてください。
- 出力モニタ端子は、出力端子に対して、約20dB低いレベル値を示します。



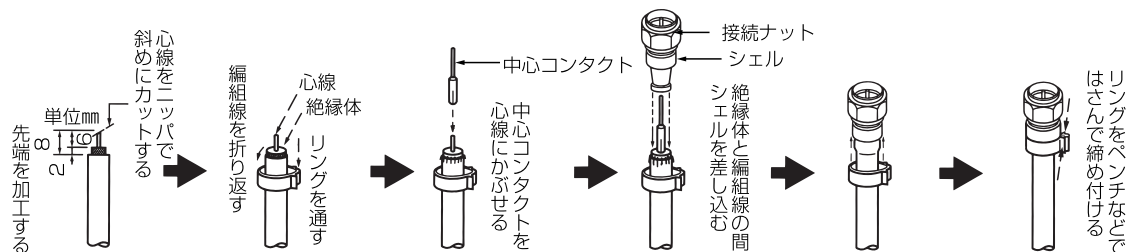
使用例



※受信システムでは、施設の規模や伝送方式の違いによってこのほかに何種類もの方法が考えられます。
この製品を出力側からDC15V電源装置（別売）を用いて動作させる場合には、電源装置の定格出力をよくお確かめのうえで使用ください。

同軸ケーブルの接続

〈F-5SN接栓（別売）への同軸ケーブルの接続方法〉（5C相当ケーブル用）



- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけますと、断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングをしっかりと締めてください。
- 1GHz帯の信号を効率よく伝送するため、同軸ケーブルは高品質の5C-FVS、S-5C-FBなどのご使用をおすすめします。なお、接栓はそれぞれの同軸ケーブルに適したC15形F形接栓（別売）をご使用ください。
- 入出力端子へのF形接栓の接続は、接続ナットを200N・cmで締め付けてください。（200N・cmを越えるトルクでは締め付けしないでください。）

電源の供給

- 電源の供給は、必ず取付工事が終わって、すべてのケーブルが正確に接続されていることとアース端子が接地されていることを確認してから行なってください。電源の供給と同時にこの製品のパイロットランプが点灯します。

〈内蔵電源を利用する場合〉

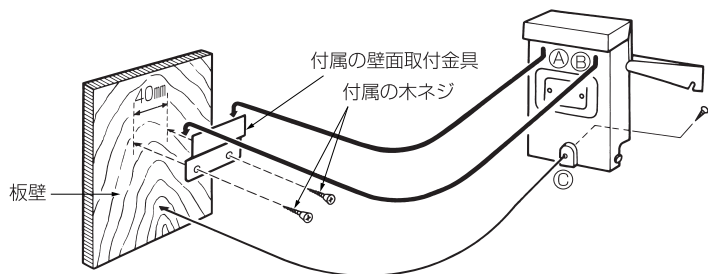
- この製品には電源スイッチがありません。電源コードのプラグをAC100Vコンセントに差し込むことにより、電源が供給されます。

〈重畳電源を利用する場合〉

- この製品を動作させるための重畳電源を供給できる端子は出力端子のみです。
- 外部電源装置は、別売のDC15V出力の電源をご使用ください。（AC30V出力の電源装置は使用できません。）またCS/BSチューナやCS/BS内蔵テレビ、CS/BS内蔵ビデオなどのコンバータ用電源（DC15V）は容量が足りないため使用できません。
- CS/BSコンバータへの電源供給をしない場合は、PS-1500（DC15V、700mA）をご使用ください。
- 電源コードのプラグには、そのままでも重畳電源が流れることはありませんが、工事のじゃまになる場合にはニッパなどで切り取ってください。このとき電源コードのプラグがAC100Vコンセントに差し込まれていないことを必ず確認してください。
- 内蔵電源（AC100V）で動作中に、出力端子から重畳電源（DC15V）を供給すると、わずかな電圧差によってどちらかの電源で動作します。故障することはありませんが、内蔵、重畳どちらか一方の電源で動作させてください。

取付方法

〈板壁への取付け〉



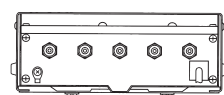
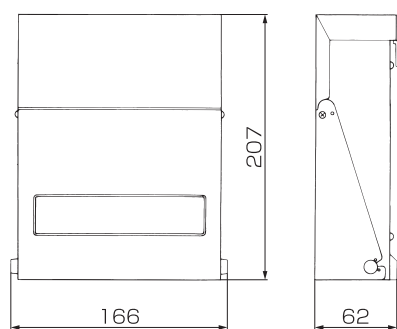
- 板壁またはボックスのパネル板に、付属の木ネジで壁面取付金具を取り付けます。つぎに本体取付部 ①② を壁面取付金具に吊り下げて、カバーをあけ本体取付部 ③ を付属の木ネジで固定します。

規格特性

品名	共同受信用CS/BS-IF・CATV・UHF・VHF帯ブースタ(30dB形)					
品番	SCW-301A					
使用帯域	CATV		VHF		UHF	CS/BS-IF
	上り	下り				
使用チャンネル (ch.)	――	――	FM・1～3	4～12	13～62	――
使用周波数 (MHz)	10～50	70～770	76～108	170～222	470～770	950～2150
利得 (dB)	-0.5～-3	30～35	27～32	27～32	30～35	25/30
利得調整範囲 (dB)	――	0～-10以上(連続)	0～-10以上(連続)	0～-10以上(連続)	0～-10以上(連続)	0～-10以上(連続)
入力アッテネータ (dB)	――	0、-10(スイッチ切換)	0、-10(スイッチ切換)		0、-10(スイッチ切換)	――
定格出力レベル (dBμV)	――	90	95		95	95
適正入力レベル範囲 (dBμV)	――	40～58	40～63	40～63	40～63	40～65
雑音指数 (dB)	――	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下
C T B (dB)	――	-56以下	――	――	――	――
帯域内周波数特性 (dB)	――		――			全帯域±2.5以内
V S W R	2.5以下		3.0以下			2.5以下
入力インピーダンス (Ω)	75		75			75
出力インピーダンス (Ω)			75			
使用温度範囲 (℃)	-10～+40					
電源	AC100V(50/60Hz)9W(コンバータ用電源送出時16W)、DC15V320mA(コンバータ用電源送出時720mA)					
外形寸法 (mm)	207(H)×166(W)×62(D)					
質量 (kg)	2.2					

規格は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

外形寸法



(単位: mm)

使用上のご注意

- 出力モニタは出力に対して20dB低い値を示しますが、出力側がケーブルで機器に接続されていないと正確な値が出ません。また出力モニタは950~2150MHzで最大2dBの誤差があるので、より正確なレベル測定を行う場合、出力端子を使用してください。
- CS/BS-IF帯(1GHz帯)とUHF帯、VHF帯ではケーブルの損失が異なりますからシステム設計には特にご注意ください。
- 重畳電源で動作させる場合、DC15V出力の電源装置(別売)を使用してください。AC30V電源を使用するとショート状態となり故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- 使用中のブレーカが切れた場合(ノブが約2mm飛び出した状態となります。)電源を切り、切れた原因を確かめて、その原因を除去してからブレーカをON(ノブを押し込む)にして、電源を入れてください。
- スイッチを切り換える場合、切換操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・さいたま営業所 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所 TEL.(0532)32-8188(代)	・高松統括営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・サテライトオフィス盛岡 TEL.(019)636-1581(代)	・サテライトオフィス宇都宮 TEL.(028)659-1100(代)	・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・福岡営業所 TEL.(092)541-0168(代)
・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・茨城営業所 TEL.(0298)26-5341(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)	・千葉営業所 TEL.(043)253-1121(代)	・大阪営業所 TEL.(06)6334-6381(代)	・大分営業所 TEL.(097)558-7235(代)
・東京ケーブル営業所 TEL.(03)3354-9812(代)	・横浜営業所 TEL.(045)651-2557(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・東京工事営業部 TEL.(03)3341-5281(代)	・静岡統括営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸営業所 TEL.(078)974-7100(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・東京電設営業所 TEL.(03)3633-1430(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	
・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)	・サテライトオフィス松本 TEL.(0263)27-7801(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	

(2002年3月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-0441(代)